

2019年度大分県女性が輝くエンパワメントセミナー事業～五つ星のわたしになる～  
わたしを知り、わたしを光らせるための五つの講座

〈5〉 見つける～わたしを見つけ、光らせる

児玉 裕美 (こだま ひろみ)

株式会社penelope代表取締役・フォトグラファー

「個々の個性とセンスを磨き、お客様の求めるさらに上の付加価値を提供する」ことを企業理念とし、「一瞬を切りとる写真」ではなく「一目見た時から時間が動き始め、ストーリーが生まれる写真」を目指す。

2001年よりカメラマンとして活動をはじめ、18年間「人」を中心に撮影。ブライダルでは延べ2000組以上の撮影を手掛ける。女性ならではの感性で「女性の美しさを表現する」ことを得意とする。

...



**知らなかった「自分」に出会ったとたんに  
世界はどこまでも輝き始める**

...

家の中で見つけた、父の使われていない古いカメラ。説明書を読んだり、操作方法を調べたりして、独学で使い方を学ぶ。でも、カメラはただの趣味。「企業で働く」ことを目指し、ビジネススキルを身に付けようと職業訓練校でパソコンを学んでいた私が、ふと目にしたのは、写真館の求人募集...

ここから「写真を仕事にする」ことの第一歩がはじまりました。

**◆若いころに出会った、ある社長さんの言葉**

カメラは好きだったものの、趣味であり、まさか仕事にすると夢にも思っていなかったころ、ふと目に留まった写真館の求人募集に応募。趣味で撮りためていた、独学で学んだ写真を面接に持って行ったところ、なんと採用に！  
ただ、趣味の世界で楽しんでいたことを仕事にするということは、好きではなくなるかもし

れないと不安でもあり、果たしてお金になるのかという怖さもありました。  
ところが、実際は違いました。「もっとこうしたい！もっと、もっと…」とやってみたく  
ことが湧き出てきて、欲でいっぱいになったのです。好きなことに仕事として取組み、没頭  
してみてもはじめてわかったことでした。

その時に、若いころアルバイトをしていた時に会ったある企業の社長さんから、「もっと  
欲を持った方がいいよ。もっと自分をアピールしなきゃ。もっとこうしたい！とか、そうい  
うのなの？」と言われた言葉を思い出しました。当時の私は社交辞令だけの浅いコミュニ  
ケーションを図っていただけだったので、自分をアピールするなんて、そんなの無理だし、  
無駄だと決めつけていたのです。

好きなことを仕事にしてはじめて、その社長の言葉が頭にストンと落とし込まれまし  
た。「もっとこうしたい」という想いと「もっとこうした方がいいよ」という提案で頭が  
いっぱい。やりたいことがさらに溢れてきた私は、独立することを選び、平成24年「  
studio de photographie Penelope」を開業しました。



#### ◆ 出会いであふれる感動の日々

独立してすぐには、もちろん仕事もなく人脈すらありません。だから、とにかく人と出会う  
ように自分で動きました。出会いたい人には自分から会いに行く、とりあえず行ってみて話  
をしてみる（そこに何があるかわからないけど…）ことを心がけ、業種を問わず様々な方  
と出会い、お仕事を依頼してくださる方だけでなく、同じ志をもつ異業種の起業家仲間もで  
きました。

まずは出会うことから。私の起業は出会いなくしては始まりも拡がりもしなかったのです。

人との出会いもすばらしいのですが、場所との出会いも魅力的です。場所の撮影では、これ  
まで同じところに行くことはほとんどなく、毎回知らない場所に訪れては、そのすばらしさ  
に魅了されています。「大分県にはこんな素敵な場所があるんだ！」「もっとたくさんの人  
にこの魅力を知ってほしい！」という私の熱い感動が伝わるように写真を撮影していま

す。

私の写真を見て「行ってみたいな！」と思ってもらえたら最高です。見た人の心を動かし行動を促すような、そんな写真でありたい・・・そう思って毎回撮影しています。

#### ◆あなたへのメッセージ

知らなかった自分の魅力に気づき、新しい自分を見つけることができるのが写真だと思っています。とにかく撮るのも撮られるのも楽しい！そう思っただけだったらうれしいです。

知らなかった魅力に出会ったとたんに、人も場所もどこまでも輝き始めるのだと思います。自分の知らなかった魅力を見つけ、引き出し、光らせるきっかけに。まずは写真を撮ってみませんか？

